

## 展示会出展報告

高橋健太郎 <sup>\*1</sup>  
Takahashi Kentaro

### 1. 第2回 [関西] Photonix (光・レーザー技術展)

関西圏でのレーザクリア® LF-100の拡販を目指し、2022年5月11日(水)～13日(金)の3日間、インテックス大阪にて開催された「第2回 [関西] Photonix (光・レーザー技術展)」(主催:RX Japan 株式会社)に出展した。本展示会は、高機能素材 Week として「フィルムテックジャパン」、「プラスチックジャパン」、「メタルジャパン」、「セラミックスジャパン」、「接着・接合 EXPO」、「コーティングジャパン」、「サステナブルマテリアル展」および「Photonix (光・レーザー技術展)」計8展の併催展で、259社・団体が出展した。

Photonix (光・レーザー技術展) は、「レーザ加工」、「光学部品・材料」、「光計測・分析」の3つの専門ゾーンで構成された光・レーザ関連技術の総合展であり、3日間で延べ17,117名が来場した。

あいにく開催地の大阪では新型コロナウイルスが再流行した時期ではあったが、客先には事前に招待状で展示会場にてレーザクリア® のデモンストレーションを実施することをアナウンスしていたため、3日間で20社を超えるサンプル試験片が持ち込まれた。展示会場で実際にレーザを照射することで、レーザ照射による表面クリーニング効果を実感していただくことができた。展示会場でのデモンストレーションを体験いただいた客先を中心に営業活動を進め、レーザクリア® LF-100の拡販を目指す(写真1)。

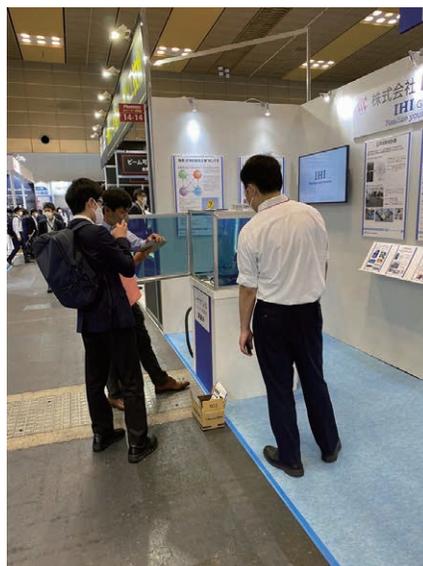


写真1 第2回 [関西] Photonix (光・レーザー技術展)  
(レーザクリア® デモンストレーションの様子)

### 2. 建設技術公開 EE 東北'22

2022年6月1日(水)、2日(木)の2日間、みやぎ産業交流センター夢メッセみやぎにて開催された「建設技術公開 EE 東北'22」(主催:EE 東北実行委員会、委員長:国土交通省東北地方整備局企画部長)にIHI 東北支社、株式会社 IHI インフラシステム (IIS)、株式会社 IHI インフラ建設 (IHK)、および当社の4社でIHIグループとして出展した(写真2)。この展示会は、建設事業に係わる新技術、新工法、新材料、新技術の公開・普及により地域

\*1: 営業統括部 セールスグループ

社会の発展に寄与することを目的として掲げている。展示会には 358 社・団体が出展し、来場者は土木・建設関係、自治体、地方整備局、社会科見学の学生まで幅広く、2 日間で約 12,200 名が来場した。当社は、「簡易遠隔操縦装置ロボ QS®」と、「ドローンによる点検・検査サービス」を展示した。2021 年度に東北地方整備局東北技術事務所にロボ QS® を納入したことから注目度が高く、東北地方整備局の各支所の方が来場され、当社の技術をより深く知っていただくのによい機会であった。また IHI グループブース全体では 318 名から名刺をいただいた。



写真 2 建設技術公開 EE 東北'22  
(IHI グループのブース)

### 3. 2022 国際ウエルディングショー

2022 年 7 月 13 日(水)～16 日(土)の 4 日間、東京ビッグサイトにて開催された「2022 国際ウエルディングショー」(主催:一般社団法人日本溶接協会)に、レーザクリア® LF-100 を扱う商社である株式会社インテックよりレーザクリア® 実機展示の要望を受け、出展した(写真 3)。本展示会は 312 社が出展し、100,413 名が来場した。今回は、レーザクリーニング時に発生するヒューム除去に適した専用集塵<sup>じん</sup>ノズルと集塵機をレーザクリア® に組み

合わせた形での初めての展示会出展である。レーザ照射時にヒュームが集塵される状況をデモンストレーション照射で確認していただき、見学された客先に好評であった。

今後、レーザクリア® LF-100 を取扱っていただく会社の展示会出展要望に応え、PR の機会を増やすとともに、デモンストレーションも積極的に進める。



写真 3 2022 国際ウエルディングショー  
(商社ブースでのレーザクリア® デモンストレーション)

### 4. 遠隔施工等実演会(施工 DX チャレンジ 2022)

2022 年 11 月 21 日(月)、22 日(火)の 2 日間、茨城県つくば市の建設 DX 実験フィールド(国土交通省国土技術政策総合研究所および国立研究開発法人土木研究所内)にて開催された「遠隔施工等実演会(施工 DX チャレンジ 2022)」(主催:国土交通省)に「簡易遠隔操縦装置ロボ QS®」の実機を展示した。

本実演会には、災害対応、生産性向上に加え、将来的な宇宙開発も視野に入れた遠隔施工の技



写真4 遠隔施工等実演会(施工DXチャレンジ2022)  
(部品展示の様子)



写真5 遠隔施工等実演会(施工DXチャレンジ2022)  
(遠隔操作体験)

術、機材が出展された。その中で当社は油圧ショベルへのロボQS®の取付・取外しの実演ならびに、見学者による操作用無線機による遠隔操作体験会を実施し、ロボQS®の装着性と遠隔操作性の良さをPRした(写真4、写真5)。本実演会には2日間で会場とオンライン、合わせて延べ約900名が見学された。

## 5. おわりに

コロナ禍も落ち着き、2022年より対面の展示会が増えている。これに伴い、当社の製品を実演や体験を通じて知ってもらえる機会も多くなっている。一方コロナ禍で増えたオンライン展示会は、会場まで足を運んでいただかなくても製品を紹介することができる場である。今後もさまざまなスタイルで積極的に当社の製品・サービスをPRして行く所存である。



営業統括部  
セールスグループ  
高橋健太郎  
TEL. 03-6404-6351  
FAX. 03-6404-6044